平成２５年5月１０日

平成２５年（２０１３年）１２月期
第１四半期決算短信 補足資料

今日を愛する。

LION

ライオン株式会社

１．２０１３年第１四半期業績ハイライト

【連結業績】

（単位：億円）

	2013年 1－3月	2012年 1－3月	前年同期増減	
			額	率（%）
売上高	716.1	675.7	40.4	6.0
営業利益	△15.1	△34.2	19.0	－
経常利益	△11.4	△32.0	20.5	－
四半期純利益	△10.1	△23.2	13.1	－
一株当たり四半期純利益 (円)	△3.76	△8.65	4.89	－

２．２０１３年第１四半期業績ハイライト

【連結業績の概況】

１）売上高７１６.１億円（前年同期比＋40.4億円、為替変動の影響額+28.7億円、
　　前年同期比増減率+6.０％、為替の影響を除いた実質前年同期比+1.7%）
海外は、タイを中心に現地通貨ベースでも２桁の伸びとなりました。
また、国内では超コンパクト洗濯用液体洗剤や高残香柔軟剤が好調なファブリックケア分野、機能性食品等の通販事業が伸長し、堅調に推移しました。

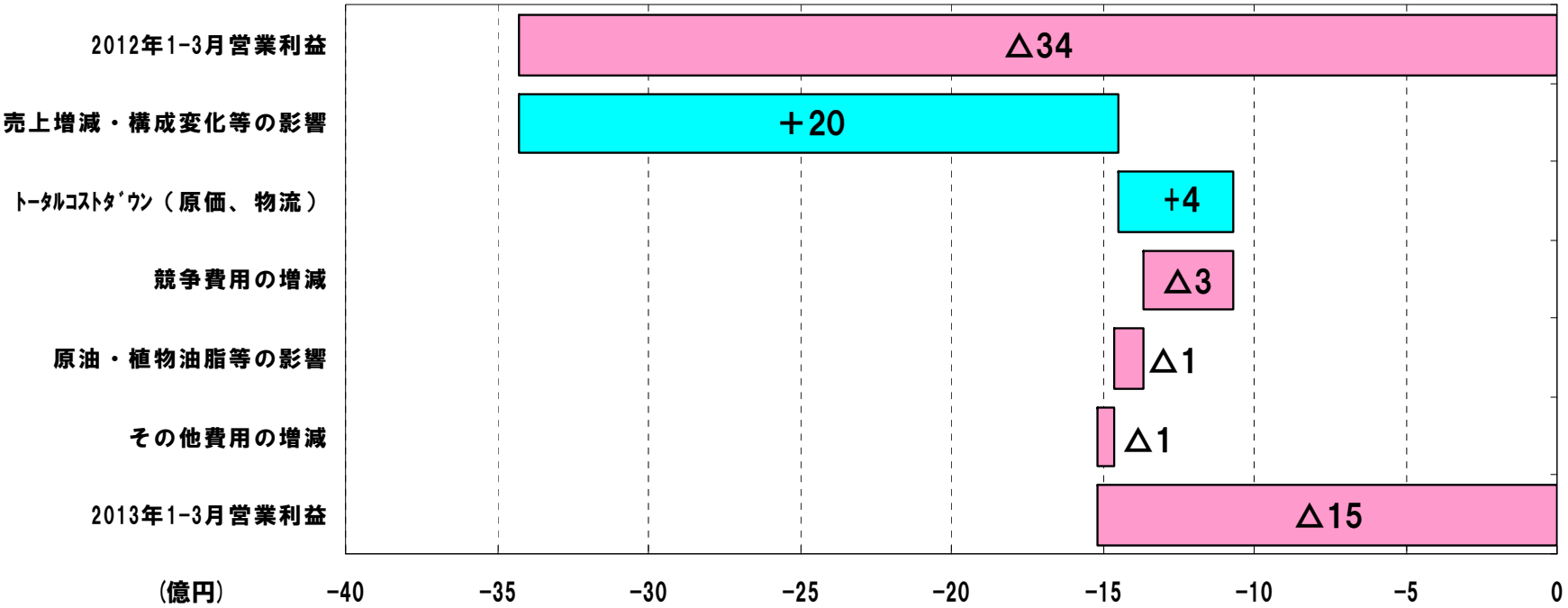
２）営業損益△１５.１億円（前年同期比＋１９.0億円）
高付加価値製品の育成による商品構成の改善や国内での販売促進費の効率化に取り組み、営業損失の損失幅は前年同期と比較して１９億円縮小しました。

３）経常損益△１１.４億円（前年同期比＋２０.５億円）
営業損益の改善に加え、持分法投資利益が増加し、経常損益は前年同期と比べ改善しました。

４）四半期純損益△１０.１億円（前年同期比＋１３.１億円）
経常損益が改善し、四半期純損益は前年同期と比べ改善しました。

３．２０１３年第１四半期業績ハイライト

【営業利益増減要因】



売上高の増加に加え、商品構成の改善に取り組み、営業損益が改善しました。

◇売上増減・構成変化等の影響：
売上高は海外を中心に増収となりました。また、国内の商品構成が改善したことに加え、海外においてもタイのオーラルケア分野等の収益性の高い分野が伸長したことから国内外ともに粗利益が改善しました。

◇競争費用の増減：
海外は積極的なマーケティング投資により競争費用は増加しましたが、国内では販売促進費の効率化に取り組み、競争費用の売上比率は低下しました。

４．２０１３年第１四半期業績ハイライト

【セグメント別】

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益）			
	2013年1－3月	2012年1－3月	増減		2013年1－3月	2012年1－3月	増減	
			額	率(%)			額	率(%)
一般用消費財	515.6	514.8	0.8	0.2	△22.5	△41.6	19.1	－
産業用品	110.9	113.7	△2.7	△2.5	0.5	△0.3	0.9	－
海外	185.7	140.4	45.2	32.2	4.3	6.2	△1.9	△31.6
その他	55.5	63.3	△7.7	△12.3	1.0	1.9	△0.8	△44.5
小計	867.9	832.3	35.5	4.3	△16.6	△33.8	17.2	－
調整額	△151.7	△156.6	4.8	－	1.4	△0.4	1.8	－
連結計	716.1	675.7	40.4	6.0	△15.1	△34.2	19.0	－

◇一般用消費財事業は、超コンパクト洗濯用液体洗剤、高残香柔軟剤が好調なファブリックケア分野、「ラクトフェリン」をはじめとする通販商品の売上が好調に推移しました。また、セグメント利益は、高付加価値製品の売上構成を高めるとともに販売促進費の効率化に取り組み、セグメント損失額は１９億円改善しました。

◇産業用品事業は、利益性の高い海外向けカーボン等が好調に推移し、セグメント利益は90百万円増加しました。

◇海外事業は、タイの日用品全般が好調に推移し、全体の売上は前年同期比32.2%の増収となりました(為替変動の影響を除いた実質売上高は同１0.9%増)。セグメント利益は市場地位向上に向けて競争投資を増やしたため前年同期比31.6%減少しました。

◇その他は、建設請負業が減収となり、全体の売上高、セグメント利益は前年同期を下回りました。

５．２０１３年第１四半期業績ハイライト

【セグメント別売上高】

（単位：億円）

	売上高			
	2013年 1－3月	2012年 1－3月	増減	
			額	率（%）
一般用消費財	515.6	514.8	0.8	0.2
	464.0	461.0	3.0	0.7
産業用品	110.9	113.7	△2.7	△2.5
	68.3	70.0	△1.6	△2.3
海外	185.7	140.4	45.2	32.2
	176.4	133.7	42.7	32.0
その他	55.5	63.3	△7.7	△12.3
	7.2	10.9	△3.7	△34.2
売上高計	867.9	832.3	35.5	4.3
外部売上高計	716.1	675.7	40.4	6.0

◇上段：売上高、下段：外部売上高
なお、売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでいます。

６．２０１３年の連結業績予想

第２四半期累計期間および通期の連結業績予想については変更しておりません。

（単位：億円）

	2013年	2012年	前年増減		2013年 第2四半期	2012年 第2四半期	前年同期増減	
			額	率(%)			額	率(%)
売上高	3,420.0	3,351.7	68.2	2.0	1,620.0	1,598.7	21.2	1.3
営業利益 対売上比(%)	100.0 2.9	72.1 2.2	27.8	38.6	25.0 1.5	22.5 1.4	2.4	11.1
経常利益 対売上比(%)	110.0 3.2	85.6 2.6	24.3	28.4	30.0 1.9	28.3 1.8	1.6	6.0
当期純利益 対売上比(%)	60.0 1.8	42.3 1.3	17.6	41.6	16.0 1.0	11.6 0.7	4.3	37.8

〈参考資料〉

市場環境（家庭品）

当社参入主要４１市場計　対前年同期比（%）

	2008年 年計	2009年 年計	2010年 年計	2011年 年計	2012年 年計	2013年 1-3月
販売金額	100	102	102	101	101	103
販売個数	100	103	103	101	102	103
平均単価	100	99	99	99	99	100

㈱インテージ ＳＲＩデータ（2010年以前は、当社参入主要44市場
2011～2012年は、当社参入主要42市場）

市場環境（一般用医薬品）

当社参入主要８市場計　対前年同期比（%）

	2008年 年計	2009年 年計	2010年 年計	2011年 年計	2012年 年計	2013年 1-3月
販売金額	98	101	96	98	98	101
販売個数	99	101	98	98	99	102
平均単価	100	100	98	100	99	99

ライオン㈱　調べ

今日を愛する。

LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

※金額は表示単位未満切捨てで表示しております。